

家族みんなの命を守る！避難カードを作ろう！

【ポイント①】どのような危険があるか確認

災害の種類を確認



大雨などで、川の水があふれる。



大雨などのたくさんの水で山や海から土砂がおよせる。



台風で、強風や大雨になる。海の水がすい上げられ、陸におよせる。

危険な場所を確認しましょう～家族でチェック～



地域の危険を市や町が作成しているハザードマップで確認しましょう。

【チェック】

- 洪水、土砂災害などが発生しそうな場所は？
- 避難場所（安全な場所）は？
- 市や町のホームページ、市役所・町役場で確認できます。

〇市ハザードマップ

けんさく検索

「重ねるハザードマップ」を使って確認もできます

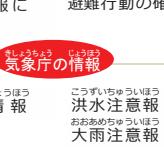
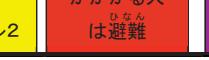


(国土交通省HP)



【ポイント②】避難情報、気象情報などの意味を知る

警戒レベルは避難の合図～家族で避難のタイミングを確認～



情報を確認するには

テレビ

- 天気予報や雨の情報を確認しましょう
- リモコンの「d」ボタンで、最新の情報を確認しましょう



メール

- 山口県土木防災情報システムに登録しておくと、注意報や警報などの情報をメールで入手できます



インターネット

- 気象庁のHPや防災やまぐち（山口県HP）などで、雨の状況や気象情報を確認しましょう



【ポイント③】危険がせまつたら、「早めに避難」

危ないと感じたら、家族や近くの人と

声をかけ合って、いつしょに避難しましょう



家族で確認

- いつ・どこに逃げるか
- 避難のとき、持ち出すもの
- 家族や頼りになる人の連絡先
- いつしょに逃げる人

▶ うら面のカードを完成させよう



© 山口県

わたし（ ）の避難カード

《自宅の災害リスクと避難のタイミング》

《家族や頼りになる人の緊急連絡先》	名前	連絡先	《家の周りの地図》
《持ち出すもの（避難所で手に入らないもの）》			
□ 防災リュック	<input type="checkbox"/>		
□ 携帯充電器	<input type="checkbox"/>		
□ 壊中電灯	<input type="checkbox"/>		
□ 《避難を呼びかける人とタイミング》	声をかける人 (一緒に逃げる人)	いつ声をかけるか (声をかけるタイミング)	気をつけること (持ち物など)
□ 防災リュック	<input type="checkbox"/>		
□ 携帯充電器	<input type="checkbox"/>		
□ 壊中電灯	<input type="checkbox"/>		

《大丈夫？自分の家は？おじいちゃん、おばあちゃんの家は？》	《自宅の災害リスクと避難のタイミング》	《記入例》
□ 土砂災害	どのような危険があるか (災害リスク)	ハザードマップを見て、どんな災害が起くるか考えよう
□ 川の氾濫	どのような危険があるか (災害リスク)	ハザードマップなどでチェック！
□ 防災リュック	土砂災害特別警戒区域の中 (すぐ危ないところ)	どこに逃げるか (避難場所)
□ 携帯充電器	〇〇川の氾濫しきら、浸水50 cm以下 (家の中にて避難すれば大丈夫)	いつ逃げるか (避難の合図・タイミング)
□ 壊中電灯	〇〇川の氾濫しきら、浸水50 cm以下 (家の中にて避難すれば大丈夫)	警戒レベル3が出たらすぐに
□ 《家族や頼りになる人の緊急連絡先》	《家の周りの地図》	〇〇小学校体育館
□ 防災リュック	名前	〇〇家(2階)
□ 携帯充電器	連絡先	〇〇田舎さんの家
□ 壊中電灯		〇〇水の上町
□ 《避難を呼びかける人とタイミング》	《家の周りの地図》	〇〇上町
□ 防災リュック	名前	〇〇県
□ 携帯充電器	連絡先	〇〇市
□ 壊中電灯		〇〇田中さん
□ 《避難を呼びかける人とタイミング》	名前	〇〇近いおじちゃんやお隣さんと声をかけて避難しよう
□ 防災リュック	連絡先	〇〇直接呼びびに行く
□ 携帯充電器		〇〇薬をもって避難する
□ 壊中電灯		〇〇ハザードマップで家の近くを調べて、絵をかいてみよう